

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

4月定例会

4月12日(木)午後6時より、当所にて会員11名、オブザーバー3名の参加者を得て4月定例会を開催した。

今回は、当会オブザーバーである川崎信用金庫 業務部経営サポートセンター センター長 前田良賢氏と調査役朝井亮介氏を講師に迎え、「中小企業の事業経営上の課題と解決策」をテーマに講演が行われた。

先に前田氏からは、同金庫が地元の中小企業に対して行ったアンケート調査結果「コミュニティーレポート」に触れながら、また金融庁が発表した地方銀行の抱える課題をまとめた報告書についても例にあげ、今日の金融機関の状況について話された。そして、お客様に寄り添いながらサポートしていく事の重要性を強調された。アンケートの中で、中小企業経営者から見た平成30年の景気見通しの調査によると、自社の業況が「すでに上向いている」と答える企業もある一方、今後の業況の改善見通しが立たないと答える企業もあり問題点を投げかけた。その他、

大手企業と中小企業の景気影響の受け方の違いや、売上が伸びている反面利益が出ていないという面など、川崎の特徴があげられた。最後に長い目で見て、今後を予測し考える重要性が語られた。

続いて朝井氏からは、地域経済の動向、地元中小企業の事業経営上の問題点と解決に向けた同金庫の取組みについて説明された。具体的な事業者の声や相談事例と解決策、各支援機関との連携例など、分かりやすく紹介された。川崎市産業振興財団、川崎市、川崎信用金庫、当所の4社連携による「中小企業者の事業承継支援に関する連携協定」を締結したことにも言及され、オール川崎で事業承継をサポートする旨説明された。

参加者は熱心に耳を傾け、新年度最初の定例会は、好評を博した講演会となった。



講師の前田氏



講師の朝井氏



熱心に聴く参加者

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191